

夏の終わりに振り返る
 子ども、うえまち、いま・むかし

プログラム(予定)

【第1部】 (14:00～15:00頃)
子どもも大人も魅了「夏休み街頭紙芝居」

紙芝居師： 杉浦貞さん(NPO 法人
 紙芝居文化協会理事長)

拍子木の音とともに、子どもたちを集めるところから街頭紙芝居の世界が始まります。今回の演目は、日本のヘレン・ケラー「中村久子の生涯」、そして愉快的「トンチクイズ」。乞うご期待！ お子さんは保護者同伴でお申してください

【ティータイム】 (15:15～16:00頃)
懐かしいおやつとともに交流のひとつき

【第2部】 (16:15～17:15頃)
講話「おまけ博士を育てたまち・おまけ博士が育てた夢」

講師： 樋口須賀子さん(宮本順三記念館
 豆玩舎 ZUNZO 副館長)

上町の路地(ろうじ)、生玉人形や四天王寺のたこたこ眼鏡にふれて幼時を過ごし、長じて子どもたちに大きな夢を届ける、小さな豆玩(おまけ)の世界を育てた、グリコのおまけ博士こと、故・宮本順三さん。上町ゆかりの生い立ちとライフワークを通して、順三さんが語りかける声に耳を澄ませます。

【第3部】 (17:15～18:30頃)
スライドショー&フリートーク「子ども、うえまち、いま・むかし」

展示にご登場くださったみなさまの“あの日・あの時・あの場所”をスライドでたどりながら、まちと子どもたちのこれからを見つめます。

進行： 早川厚志さん(まちづくり工房
 主宰/上町台地からまちを考える
 会理事)



日時： 2007年8月25日(土)
 14:00～18:30頃

会場： NEXT21・2階ホール前南側の
 通路+ホール など
 (受付は2階ホールへ、ティータイム
 は1階会議室へ)

大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 の1階「U-CoRo = ゆーころ(上町台地コミュニケーション・ルーム)」で開催中のウィンドウ・エキジビション第2弾「上町台地 子どもと遊び いま・むかし」も、いよいよ終了間際です。

夏の終わりの昼下がりから夕暮れ時に、ありしひの上町台地の姿や、子どもの頃の自分に出会う、ささやかなひとときを設けます。

子どもたちの目線に戻って、万華鏡を覗くような夏の終わりのスペシャル・プログラムを、ぜひごいっしょにお楽しみください。



大阪市天王寺区清水谷町 6-16(地下鉄「谷町六丁目駅」7号出口徒歩5分ほど)

主催： 大阪ガスエネルギー・文化研究所(CEL)
 企画： U-CoRo プロジェクト・ワーキング
 協力： 北浦千尋(アゼット)、橋本護(B-train)、早川厚志(まちづくり工房)

参加申込： 第1部・第2部・第3部のご参加の有無と、参加者名・所属・連絡先を書いて、
 FAX.06-6205-3512(CEL弘本)へお申し込みくださるか、<http://uemachi.cotocoto.jp/event/1687>
 の申込フォームをご利用ください。 お子さんは保護者同伴で 参加無料 定員60名
 問合せ先： TEL.06-6205-3518 大阪ガスエネルギー・文化研究所(CEL)弘本まで